

令和8年3月11日

目黒区教育委員会教育長 宛て

目黒区立駒場小学校  
校長 秋山 美栄子

令和7年度 目黒区立駒場小学校 学校評価報告書

1 学校評価委員会の実施内容

(1) 第1回実施日時 令和7年6月28日(土) 午前11時50分～午後0時30分

- ・校長あいさつ
- ・自己紹介
- ・令和7年度の学校経営方針について
- ・学校の様子(意見交換)
- ・学校評議員の皆様より

(2) 第2回実施日時 令和7年9月20日(土) 午前11時50分～午後0時30分

- ・校長あいさつ
- ・学校の様子や近況報告
- ・学校評議員の皆様より

(3) 第3回実施日時 令和8年2月4日(水) 午前9時00分～午前10時00分

- ・校長あいさつ
- ・学校評価について意見交換

2 参加者

・渡辺 裕之 渡辺 勝之 和田上 あづみ 村井 道子 菱田 州男  
校長 副校長

3 評価の結果等

※四者…児童・生徒、保護者、地域の方、教職員のこと。

評価項目	◎(成果)、●(課題)、 ◎(成果と課題の両者を含む)	次年度の教育活動の改善点	学校評価委員会での意見 (学校運営協議会での意見)
<b>I 学校全体について</b> ・学校の雰囲気、学習環境、教職員の態度などについて、家庭・地域との連携、地域人材の活用などについて	◎地域、教職員からの高い肯定的な評価は90%を超えており、学校経営は概ね良好である。特に地域との連携は極めて良好に推移している。 ●昨年度と比較すると、保護者や高学年児童の評価は微減傾向にある。日常的に接している児童やその話を聞く保護者には、些細な	良好な学校環境を維持しつつ、児童の視点に立った細やかな配慮をする。日頃の学校の様子により伝わるよう、保護者・地域への発信をさらに充実させる。	昨年度と比較して、先生方の経営参画意識が高まっているように感じる。 保護者や高学年児童の評価については、著しい減少傾向ではないので、個別の案件に丁寧に対応していくことを継続すればよいと思う。

	<p>トラブルや学級内の落ち着きのなさ等を不安に感じている可能性がある。</p>		
<p><b>II 教育目標について</b> ・教育目標、時程、教育内容全体について</p>	<p>◎保護者の肯定的評価が昨年より 5.5 ポイント上昇した。学校経営方針の周知や日々の教育活動への理解が進んだ成果と捉えられる。</p>	<p>年度初めに教員が児童にわかりやすく説明し、教育目標と日常の教育活動との関連をより明確に示す。</p>	<p>年度初めだけにとどまらず、発達段階に応じた担任からの説明をお願いした。</p>
<p><b>III 心の教育について</b> ・道徳科の授業の充実や児童・生徒の道徳的実践力の向上に向けた取組について</p>	<p>◎児童及び教職員は、道徳的実践力の育成に向けた取組を肯定的に受け止めている。 ●高学年児童は、昨年度比で 2.6 ポイント下がっている。発達段階に応じた更なる児童が必要である。</p>	<p>児童の道徳的実践をさらに高めるため、日々の生活指導との関連を図りながら、道徳の授業を核とした全教育活動で取組を引き続き、組織的に推進する。</p>	<p>「命を大切にし、思いやりをもって生活しているか」という質問に対して、真剣に答えているため、肯定的評価が下がったとも言えるのではないかと。道徳的実践力は、数値に反映されにくいものなので、継続した道徳教育の推進を望む。</p>
<p><b>IV 学習指導等について</b> ・学力の定着・向上に向けた授業の改善・充実、習熟度別指導、マイプラン学習、主体的に学習に取り組む態度等の取組について ・職場体験等体験活動、自然宿泊体験教室、キャリア教育等の充実について</p>	<p>◎保護者・高学年児童・低学年児童ともに、肯定的評価が大幅に上昇しており、指導方法の工夫や教職員の授業改善への意識の高まりが成果として表れている。主体的に学習に取り組む児童の姿も多く見られるようになってきている。</p>	<p>個に応じた指導や習熟度に配慮した授業をさらに充実させる。 校内研究で取り組んでいる単元内自由進捗学習をさらに探求する。 ICT を活用した学びの質を向上させる。</p>	<p>先生方の学力向上を目指した授業改善の意識の高まりが、児童の学びの様態の変化(向上)に表れていると思う。 校長の経営方針が学校全体(保護者を含む)に浸透していることの表れと評価する。 今までは取り残されていたであろう児童も、ICTの活用で学習に前向きになっているように感じる。</p>
<p><b>V 体育・健康教育について</b> ・体力向上、健康の促進に向けた取組について</p>	<p>◎高学年児童以外の評価が伸びており、体力向上や健康増進に対する意識の高まりが見られる。 ●高学年児童は、休み</p>	<p>体力向上に向けた取組を学校内で継続的に実行できるよう計画を立て、実践する。 休み時間の外遊びを奨励する。</p>	<p>子どもたちが外で活動する時間がもともと少ないのではないかと。朝の遊びは続けるとよい。</p>

	<p>時間に外で遊んだり、放課後残って遊んだりする経験が少ないのが現状である。また、目黒区全体から見ても低い状況である。</p>		
<p><b>VI 特別活動について</b></p> <p>・学校行事の充実、異学年交流活動、クラブ・部活動の充実などについて</p>	<p>◎昨年度は開校90周年の取組で評価が高かったが、今年度もさらに上昇している。</p> <p>●地域の方の評価が低くなっている。地域の方にも都合があり、参加していただける方は少ない。</p>	<p>特別活動のねらいを明確にした計画と振り返りを充実させる。</p> <p>活動の内容について保護者への情報提供の工夫をする。</p>	<p>学校行事への意識の高まりは、これまでの成果であろう。児童の期待に応える学校行事を引き続きお願いしたい。</p>
<p><b>VII 学校生活全般について</b></p> <p>&lt;生活指導&gt;</p> <p>・生活規律の徹底、いじめや不登校の現状と対応、教員の関わり方、特別支援教育への取組などについて</p>	<p>◎生活規律について、地域や低学年児童の評価が上がっている。昨年度に比べ、落ち着いた生活環境が保たれている。</p> <p>○教職員：昨年度より大幅に上昇しているが、まだ80%である。さらに落ち着いた環境を構築していくべきと考える。</p>	<p>生活指導基準の見直しをし、全教職員で共通理解し徹底して取り組む。教員一人ひとりの意識改革ができるように、学年会やOJTを活用する。</p> <p>いじめに対して早期対応と学年での継続的な支援の強化を行う。</p>	<p>学習指導と同様に、生活指導面での先生方の改善意欲が伝わってくる。生活指導の成果が学力向上にも反映していくので引き続き継続していただきたい。</p>
<p>&lt;防災教育・安全指導&gt;</p> <p>・事故や災害に関する安全教育や情報モラル教育の充実、安全管理などについて</p>	<p>◎児童は、毎月の避難訓練等しっかり取り組んでいるので、評価は高い。</p> <p>●保護者にはどのように実施されているのかわからない部分があるのではないかと考える。</p>	<p>児童はしっかり取り組むことができているので、学校だよりや保護者会での広報を充実させる。</p>	<p>防災は、地域とPTAの協力が不可欠である。保護者・地域と連携を図りながら引き続き、よろしくをお願いしたい。</p>
<p>&lt;幼・保・小・中連携&gt;</p> <p>・中学校や同じ中学校区の小学校との連携について</p> <p>・近隣の幼稚園・保育園</p>	<p>●保護者の評価が、昨年より2.4ポイント下がっている。小中連携の実践はあるが、広報が足りないのではないかと考える。</p>	<p>幼・保・小の連携が進むよう、近隣幼稚園・保育園等交流を工夫する。</p>	<p>コロナで途絶えた幼保との交流を活性化し、架け橋期の教育の充実を望む。</p>

との連携について	か。		
<b>VIII 情報の発信</b> ・学校の情報発信の充実について	◎保護者の評価が飛躍的に向上した。学校ホームページや学校だよりによる積極的な学校広報が、保護者の安心感と満足感に繋がっていると考えられる。	引き続き、学校ホームページや学校だよりを通じて、タイムリーな情報発信に努める。	継続を望む。
<b>IX 教員の人材育成について</b> ・日常の職務をとおして専門性と協働性の育成、教育公務員の自覚について	◎満点評価である。教員 OJT の「学び塾」や研究授業等専門性と協働性の育成ができている。	日常の職務を通して教職員同士が学び合う体制が整い、協働的な取組が進められているので、引き続き行う。	次期学習指導要領に向けての準備を人材育成と並行して行うことも検討してみてもどうか。
<b>X 教員の働き方改革について</b> ・校務支援システムの活用、「チーム学校」を意識した業務分担等、組織的な業務の効率化・最適化について	○校務の効率化に向けた取組を進めているが、さらなる改善が必要である。	「チーム駒場」を意識した業務分担の効率化・最適化を推進する。このことにより、教員が児童と向き合う時間を確保する。	勤務時間の短縮を言われている時代だが、子どもたちの指導にかける時間は確保してほしい。
<b>XI 服務事故の防止について</b> ・服務事故防止に向けた取組などについて	◎服務事故防止に向けた意識啓発がなされており、高い評価となっている。	引き続き、服務事故防止研修や勤怠等管理をしっかり行っていく。	管理・徹底をお願いしたい。